

No. 2

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-077500

(43)Date of publication of application : 15.03.2002

(51)Int.Cl.

H04N 1/00

H04N 1/21

(21)Application number : 2000-254889

(71)Applicant : MURATA MACH LTD

(22)Date of filing : 25.08.2000

(72)Inventor : TANIMOTO YOSHIFUMI

## (54) NETWORK SCANNER

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a network scanner with more convenience when an image data is distributed to a destination terminal device.

SOLUTION: An image data of a read image is formed at a FAX server (network scanner), and is distributed to a file server connected to a communication network such as a LAN, another FAX server, and a destination terminal device such as a client PC. When forming the image data, designation of a department code of (a) column of a table 6 and a user code of (b) column allows the image data to be stored in a holder of a corresponding (c) column. The table may be set to a file server and the like other than the FAX server, for sharing on a communication network.

表 6	(a)	(b)	(c)	(d)
部署コード	部署コード	ユーザコード	ファイル名	ファイルパス
001	001	001	001	001
002	002	002	002	002
003	003	003	003	003
004	004	004	004	004
005	005	005	005	005
006	006	006	006	006
007	007	007	007	007
008	008	008	008	008
009	009	009	009	009
010	010	010	010	010

## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 18.12.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 14.10.2003

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

特願 2002-226800 2/2

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-77500

(P2002-77500A)

(43) 公開日 平成14年3月15日 (2002.3.15)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	FI	テーマコード(参考)
H04N 1/00	107	H04N 1/00	107A 5C062
1/21		1/21	5C073

審査請求 未請求 請求項の数4 OL (全7頁)

(21) 出願番号 特願2000-254889(P2000-254889)

(22) 出願日 平成12年8月25日 (2000.8.25)

(71) 出願人 000006297

村田機械株式会社

京都府京都市南区吉祥院南落合町3番地

(72) 発明者 谷本 好史

京都市伏見区竹田向代町136番地 村田機

械株式会社本社工場内

(74) 代理人 100103791

弁理士 川崎 勝弘 (外1名)

Fターム(参考) 5C062 AA05 AA13 AA30 AA35 AB17

AB42 AC02 AC22 AF12

5C073 AA04 AB02 AB03 AB12 CB01

(54) 【発明の名称】 ネットワークスキャナ

(57) 【要約】

【課題】 配信先端末装置に画データを配信する際の利便性を高めたネットワークスキャナを提供すること。

【解決手段】 FAXサーバ(ネットワークスキャナ)で読み取り画像の画データを形成し、LAN等の通信ネットワークに接続されているファイルサーバ、他のFAXサーバ、クライアントPC等の配信先端末装置に配信する。画データを形成する際に、テーブル6の(a)欄の部門コード、(b)欄のユーザコードを指定すると、対応する(c)欄のフォルダに画データが格納される。このテーブルは、FAXサーバ以外のファイルサーバ等に設定することもでき、通信ネットワーク上で共有することができる。

6  
1

(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
部門	ユーザ	フォルダ	パスワード	容量
営業部		WVarv001Hajiroba	不要	無制限
経理部		WVarv001Vkeiriba	1234	10MB
技術部		WVarv001Ygijyotaba	4567	無制限
	Yamamoto	WVarv001Yyamamoto	不要	50MB
	Tanaka	WVarv001Ytanaka	不要	50MB

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 通信ネットワークに配信先端末装置と共に接続され、読み取り画像の画データを配信先端末装置に配信するネットワークスキャナであって、画像の読み取り時にユーザコードを指定する手段を備え、前記指定されたユーザコードに基づいて、画データを通信ネットワークに設定されたフォルダに格納することを特徴とするネットワークスキャナ。

【請求項2】 通信ネットワークに配信先端末装置と共に接続され、読み取り画像の画データを配信先端末装置に配信するネットワークスキャナであって、画像の読み取り時に部門コードを指定する手段を備え、前記指定された部門コードに基づいて、画データを通信ネットワークに設定されたフォルダに格納することを特徴とするネットワークスキャナ。

【請求項3】 前記フォルダを、ネットワークスキャナと配信先端末装置のいずれか、またはその両者に設定することを特徴とする、請求項1または請求項2に記載のネットワークスキャナ。

【請求項4】 前記指定されたユーザコードまたは部門コードに対応するフォルダを決定できないときには、新たなフォルダを設定することを特徴とする、請求項1ないし請求項3のいずれかに記載のネットワークスキャナ。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、配信先端末装置に画データを配信する際の利便性を高めたネットワークスキャナに関するものである。

【0002】

【従来の技術】最近の通信技術やコンピュータ技術の進展に伴い、画像読取装置（スキャナ）の用途が拡大してきている。その一例として、ユーザ構内通信網（Local Area Network、以下、LANと略記する。）のような通信ネットワークに、スキャナと配信先端末装置とを接続し、スキャナで形成された画データを前記配信先端末装置に配信するネットワークスキャナが知られている。

【0003】前記画データを配信するスキャナとして、例えばファクスサーバ（以下、本明細書および図面ではFAXサーバと略記する。）のような通信端末装置が使用される。この場合には、当該FAXサーバはネットワークスキャナとして作用する。また、配信先端末装置としては、ファイルサーバやクライアントパーソナルコンピュータ（以下、クライアントPCと略記する。）等の通信端末装置が通信ネットワークに接続されている。

【0004】ネットワークスキャナで原稿を読み取り、形成された画データを配信先端末装置に配信する際には、各配信先端末装置で当該画データを格納するフォルダを指定する操作を行なう。このフォルダには、ファイ

ルサーバやクライアントPC等の各配信先端末装置毎に、固有の記号からなるパスが設定されている。

【0005】例えば、配信先のクライアントPCの画データを格納するフォルダのパスが、「¥¥p c 0 0 1 ¥ d a t a 1」と、特殊文字、アルファベット、数字の異なるキャラクタを組み合わせた13桁の記号で規定されているものとする。ネットワークスキャナから画データを当該クライアントPCに配信する際には、画データを格納するフォルダとして前記13桁の記号を入力してパスを特定する。

【0006】ネットワークスキャナをある会社を設置した場合に、当該ネットワークスキャナで読み取られる原稿の画像は、会社の部、課等の部門で作成した原稿の画像や、特定の個人ユーザが作成した原稿の画像等、多岐にわたっている。これらの読み取り画像の画データは、順次ネットワークスキャナの所定のフォルダに格納されて蓄積される。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】このように、ネットワークスキャナのフォルダには、読み取り画像の画データが時系列で蓄積される。これらの画データは、作成を担当する部門やユーザとは無関係に混在してフォルダに蓄積されるので、フォルダから特定の画データを読み出して配信先端末装置に配信する際の処理が煩雑になるという問題があった。

【0008】本発明は上記のような問題に鑑み、配信先端末装置に画データを配信する際の利便性を高めたネットワークスキャナの提供を目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明の上記目的は、請求項1に係る発明において、ネットワークスキャナを、通信ネットワークに配信先端末装置と共に接続され、読み取り画像の画データを配信先端末装置に配信するネットワークスキャナであって、画像の読み取り時にユーザコードを指定する手段を備え、前記指定されたユーザコードに基づいて、画データを通信ネットワークに設定されたフォルダに格納する構成とすることによって達成される。

【0010】また、請求項2に係る発明は、ネットワークスキャナを、通信ネットワークに配信先端末装置と共に接続され、読み取り画像の画データを配信先端末装置に配信するネットワークスキャナであって、画像の読み取り時に部門コードを指定する手段を備え、前記指定された部門コードに基づいて、画データを通信ネットワークに設定されたフォルダに格納することを特徴としている。

【0011】また、請求項3に係る発明は、請求項1または請求項2に記載のネットワークスキャナにおいて、前記フォルダを、ネットワークスキャナと配信先端末装置のいずれか、またはその両者に設定することを特徴と

している。

【0012】また、請求項4に係る発明は、請求項1ないし請求項3のいずれかに記載のネットワークスキャナにおいて、前記指定されたユーザコードまたは部門コードに対応するフォルダを決定できないときには、新たなフォルダを設定することを特徴としている。

【0013】上記請求項1に係る発明の特徴によれば、ユーザコードに基づいて画データを格納するフォルダを通信ネットワークに設定しているため、画データを整理してフォルダに格納でき、画データを読み出して配信先

端末装置に配信する際の処理が円滑に行なえ、利便性が向上する。

【0014】また、請求項2に係る発明においては、部門コードに基づいて画データを格納するフォルダを通信ネットワークに設定しているため、画データを整理してフォルダに格納でき、画データを読み出して配信先

端末装置に配信する際の処理が円滑に行なえ、利便性が向上する。

【0015】さらに、請求項3に係る発明においては、画データを格納するフォルダをネットワークスキャナと配信先

端末装置のいずれかに設定している。このため、ネットワークスキャナと配信先

端末装置のいずれか一方はデータを保有しないので、メモリ資源を節約できる。

【0016】また、画データを格納するフォルダをネットワークスキャナと配信先

端末装置の両者に設定する場合には、ネットワークスキャナを他のネットワークに移動したような場合や、ネットワークスキャナのマスター

ファイルサーバ2が配信先であれば、FAXサーバ1から出力された画データは、LAN5を介してDaの経路でファイルサーバ2の規定されたフォルダに入力される。

【0021】また、FAXサーバ3、クライアントPC4が配信先の場合にも、LAN5を介してDb、Dcの経路でそれぞれの規定されたフォルダに画データが入力される。この場合には、FAXサーバ3は、FAXサーバ1からみると配信先端末装置に相当する。FAXサーバ3で読み取り画像の画データを形成し、前記各配信先

端末装置に画データを配信することもできる。

【0022】本発明においては、ネットワークスキャナから配信先端末装置に画データを配信する際に、画データを格納するフォルダを、特定の部門、または特定のユーザ毎に設定して、画データの読み出しが簡単に行なえるようにして、画データ配信時の利便性を高めることを基本的な構成とするものである。

【0023】図1は、前記ネットワークスキャナに設定されるテーブルの一例を示す説明図である。図1において、テーブル6の(a)欄には、画データの作成を担当する部、課等の部門コードを登録する。この例では、営業部、経理部、技術部の三部門が登録されている。

(b)欄には、画データの作成を担当するユーザコードを登録する。

【0024】(c)欄には、画データ作成元となる前記部門コードまたはユーザコードに対応するフォルダパスを登録する。(d)欄には、パスワード(認証)を登録する。(e)欄には、画データを格納するフォルダのファイル容量の上限値を登録する。

【0025】図2に示したFAXサーバ1のマスターファイルに図1のテーブルを設定する例で説明する。例えば、部門コード「営業部」で、読み取り画像の画データの作成を担当する際には、当該部門コードの入力により、読み取り画像の画データは(c)欄の対応するフォルダパス、「¥¥srv001¥eigyobu」のフォルダに格納される。部門コードの入力は、「営業部」の文字入力に代えて識別子(ID)の入力でも良い。

【0026】部門コード「営業部」で作成される画データは、順次前記フォルダに格納されて蓄積される。同様に、部門コード「経理部」、部門コード「技術部」で、読み取り画像の画データの作成を担当する際にも、それぞれ(c)欄の対応するフォルダパスのフォルダに格納される。

【0027】なお、部門コード「営業部」で最初に画データの作成を担当する際には、FAXサーバ1は、操作部からのフォルダパスの入力により、画データを格納するフォルダを設定する。このように、部門コード毎に対応するフォルダを設定しているため、画データを整理して格納でき、画データを読み出して配信先

【0028】また、ユーザコード「yamamoto」で、読み取り画像の画データの作成を担当する際には、当該ユーザコードの入力により、読み取り画像の画データは(c)欄の対応するフォルダパス、「¥¥srv001¥yamamoto」のフォルダに順次格納されて蓄積される。ユーザコードの入力は、「yamamoto」の文字入力に代えて識別子(ID)の入力でも良い。

【0029】ユーザコード「yamamoto」で最初に画データの作成を担当する際には、FAXサーバ

は、操作部からのフォルダパスの入力により、画データを格納するフォルダを設定する。このように、ユーザコード毎に対応するフォルダを設定しているため、画データを整理して格納でき、画データを読み出して配信先端末装置に配信する際の処理が円滑に行なえ、利便性が向上する。

【0030】図1の部門コードおよびユーザコードと、画データを格納するフォルダを対応させたテーブルは、LANのような通信ネットワークに接続された他の通信端末装置が共有できるものである。例えば、前記のように当該テーブルを図2のFAXサーバ1のフォルダに設定した場合に、FAXサーバ3で画データを作成したときにも、FAXサーバ1に設定されたテーブルを用いて、当該画データを部門コード、または、ユーザコードの所定のフォルダに格納することができる。

【0031】このように、FAXサーバ3は、FAXサーバ1に設定されたテーブルを利用でき、自機内にはテーブルを保有しないので、FAXサーバ3のメモリ資源を節約できる。また、前記テーブルをLANに接続されたファイルサーバ2のフォルダに設定することもできる。この場合には、FAXサーバ1、3はデータを保有しないので、FAXサーバ1、3のメモリ資源を節約できる。

【0032】更に、FAXサーバ1のマスターファイルに設定された前記テーブルをコピーして、FAXサーバ3とファイルサーバ2が同じテーブルをそれぞれ共有する構成とすることもできる。この場合には、例えばFAXサーバ1を他のネットワークに移動したような場合や、FAXサーバ1のマスターファイルが破損した場合でも、データの復元が容易に行なえる。

【0033】図1のテーブル6には、(d)欄にパスワード(認証)を登録している。したがって、FAXサーバ1(ネットワークスキャナ)の管理者は、読み取り画像の画データを、蓄積、読み出し処理する際のユーザの利用を制限することができる。また、画データの蓄積、読み出し処理をする際に、前記認証が必要かどうかを部門コード、ユーザコード毎に設定できる。このため、他人に自己のパスワードを乱用されないようにすることができる。

【0034】図1のテーブルの(e)欄には、部門毎、

ユーザ毎に画データを格納するフォルダのファイル容量の上限値をメガバイト(MB)単位で設定している。

(e)欄は、ファイル容量の上限値に代えて原稿の枚数の上限値、例えばA4サイズ原稿とした場合に、その枚数の上限値で設定しても良い。このように、フォルダ毎に蓄積できるデータ量の上限値に基づいてファイル容量の管理を行なっているため、ファイル容量が不足するため画データが格納できないというような事態の発生を防止し、画データの配信処理を安全に行なえる。

【0035】また、フォルダ毎にデータを蓄積できる部門またはユーザ、あるいは蓄積されたデータの読み出しのみが可能な部門またはユーザ、データ蓄積と読み出しの両方が可能な部門またはユーザ、いずれもできない部門またはユーザというように、部門またはユーザの権限を種々設定することができる。

【0036】図3は、本発明に適用されるFAXサーバに設ける制御装置20の一例を示す概略のブロック図である。図3において、21は各種信号やデータを処理するための超小型演算処理装置(以下、MPUと略記する)、22はFAXサーバの各種動作に必要なデータやプログラム格納されるROM、23は管理データ等が格納されるRAMである。

【0037】24は画データを記録紙に出力するプリンタ、25は原稿を読み取り、白黒2値のイメージデータである画データを出力する読取部、26はキーボードやマウス等からなる操作部である。FAXサーバは、ネットワークインターフェイス(I/F)27を介してLAN5に接続される。FAXサーバは、サービス総合デジタル網(ISDN)のインターフェイス(I/F)28、デジタル回線終端装置(DSU)29を介してISDNに接続される。また、回線制御部(NCU)30を介して公衆電話網(PSTN)に接続される。

【0038】31はPSTNを介して相手先のファクシミリ装置との間で送受信されるファクシミリデータを変調、復調するモデムであり、モデム31とNCU30とはアナログ信号線31aで接続される。

【0039】符号・復号部32は、画データの符号化と復号化を行なう。図形文字発生部33は、文字コードデータをイメージデータに変換する。34は陰極線管(CRT)や液晶表示器(LCD)を用いた表示部、35は画データに日時を記入するために用いる時計部、36は通信管理記録と画データを記憶するハードディスク(HD)、37は内部バスである。なお、記憶容量をそれほど必要としない場合には、ハードディスク(HD)に代えて画像メモリを用いる。

【0040】図4は、本発明の処理手順を示すフローチャートである。次にこのフローチャートについて説明する。

【0041】(1)ステップS1で、FAXサーバの画データ処理のプログラムを開始し、ステップS2の処理

10

20

30

40

50

で、読み取り原稿をセットする。また、画データの作成を担当するユーザコードまたは部門コードを入力する。

【0042】(2)次に、ステップS3の処理で、ユーザコードまたは部門コードに対応するフォルダを調査する。この際に、ステップS4の処理でテーブルを参照する。続いて、ステップS5の処理でフォルダ有かどうかを判定する。この判定結果がYES（以下、Yと略記する）であれば、ステップS6の処理に移行して認証を要求する。

【0043】(3)次にステップS7の処理で認証は一致したかどうかを判定する。前記ステップS5の処理で、判定結果がNO（以下、Nと略記する）であればステップS8の処理に移行し、フォルダを作成する。ステップS7の判定結果がYの場合と、ステップS8の処理の後には、続いてステップS9の処理で原稿の画像を読み取り、符号化を行なう。

【0044】(4)次に、ステップS10の処理でフォルダに空き容量は有かどうかを判定する。この判定結果がYの場合には、ステップS11の処理で画データをフォルダに格納し、ステップS12で処理プログラムを終了する。ステップS10の判定結果がNの場合には、ステップS12で処理プログラムを終了する。

【0045】(5)前記ステップS7の処理で認証が一致しないと判定されると、ステップS13の処理に移行して、当該ユーザまたは部門の操作拒否を行い、ステップS13で処理プログラムを終了する。

【0046】図1のテーブルBでは、(a)欄の部門コードと(b)欄のユーザコードとを分離して登録している。本発明においては、(a)欄の部門コードと(b)欄のユーザコードとを合わせて登録することもできる。例えば、「営業部」の「yamamoto」を登録することができる。

【0047】このような場合に、「営業部」のフォルダと「yamamoto」のフォルダのいずれを優先させて画データを格納するかは、予め設定しておくことができる。また、画データ毎にいずれのフォルダに格納するかを設定することもできる。

#### 【発明の効果】

【0048】以上詳述したように請求項1に係る発明によれば、ユーザコードに基づいて画データを格納するフォルダを通信ネットワークに設定しているため、画デ

タを整理してフォルダに格納でき、画データを読み出して配信先端末装置に配信する際の処理が円滑に行なえ、利便性が向上する。

【0049】また、請求項2に係る発明においては、部門コードに基づいて画データを格納するフォルダを通信ネットワークに設定しているため、画データを整理してフォルダに格納でき、画データを読み出して配信先端末装置に配信する際の処理が円滑に行なえ、利便性が向上する。

【0050】さらに、請求項3に係る発明においては、画データを格納するフォルダをネットワークスキャナと配信先端末装置のいずれかに設定している。このため、ネットワークスキャナと配信先端末装置のいずれか一方はデータを保有しないので、メモリ資源を節約できる。

【0051】また、画データを格納するフォルダをネットワークスキャナと配信先端末装置の両者に設定する場合には、ネットワークスキャナを他のネットワークに移動したような場合や、ネットワークスキャナのマスターファイルが破損した場合でも、データの復元が容易に行なえる。

【0052】さらに、請求項4に係る発明においては、指定されたユーザコードまたは部門コードに対応するフォルダを決定できないときには、新たなフォルダを設定している。このため、画データの作成を担当するユーザや部門が増加した場合でも、画データを整理してフォルダに格納することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態に係るネットワークスキャナに設定されるテーブルの例を示す説明図である。

【図2】ネットワークスキャナを通信ネットワークに接続する例を示すブロック図である。

【図3】FAXサーバの制御装置を示すブロック図である。

【図4】本発明の処理手順を示すフローチャートである。

#### 【符号の説明】

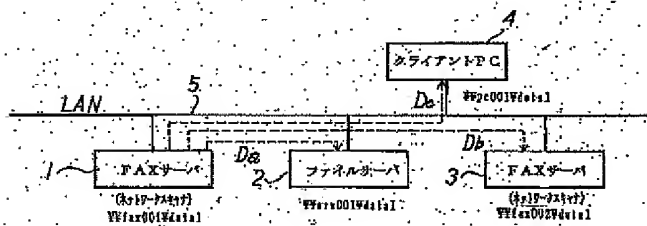
- 1、3 FAXサーバ（ネットワークスキャナ）
- 2 ファイルサーバ
- 4 クライアントパーソナルコンピュータ（PC）
- 5 ユーザ構内通信網（LAN）
- 6 テーブル

【図1】

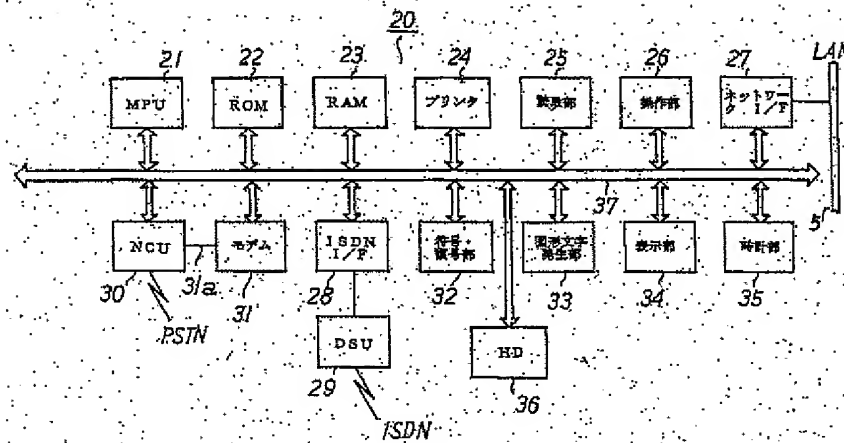
6  
7

(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
部門	ユーザ	フォルダ	パスワード	容量
営業部		WVrrv001VoiKyoku	不要	無制限
経理部		WVrrv001VkeiRibu	1234	10MB
技術部		WVrrv001VkiJyutoku	4567	無制限
	yamamoto	WVrrv001Vramamoto	不要	50MB
	tanaka	WVrrv001Vtanaka	不要	50MB

【図2】



【図3】



【図4】

